

*とりくもにいろ

(鳥雲に入る)

仲春 五二

なえいち

(苗市)

仲春 三二

なぐさのめ

(名草の芽)

仲春 七二

*とりぐもり

(鳥曇)

晩春 二〇

なえうり

(苗木)

仲春 三二

なげおうぎ

(投扇)

新年 三四五

*とりさかる

(鳥つる)

三春 五二

*なえきうち

(苗木植う)

仲春 三二

なげたいまつ

(夏越)

晩夏 一一一

*とりつるむ

(鳥つるむ)

三春 五二

なえしようじ

(苗障子)

仲春 三二

*なごしのはらえ

(名残の祓)

晩夏 一一一

*とりのいち

(西の市)

初冬 三〇七

なえだ

(苗田)

晩春 二二

*なごりのちや

(名残の茶)

晩秋 二一〇

*とりのけあい

(鶏の蹴合)

晩春 四〇

*なえはこび

(苗床)

仲春 三一

なごりのつき

(名残の月)

晩秋 一九七

*とりのこい

(鳥の恋)

三春 五二

*なえいも

(苗運び)

仲夏 一七二

なごりのゆき

(名残の雪)

仲春 一八

*とりのたまこ

(鳥の卵)

三春 五二

*ながいも

(薯蕷)

三秋 二五一

なしうり

(梨売)

三秋 二二七

*とりのまち

(西の町)

初冬 三〇七

ながきよ

(永き日)

三春 一一

なしえん

(梨園)

三秋 二二七

*とりひく

(鳥引く)

仲春 五二

ながさきよ

(長崎忌)

三秋 一一

なしさかり

(梨狩)

三秋 二二七

*とりわたる

(鳥渡る)

三秋 二二七

ながさきき

(長崎忌)

初秋 二一八

*なしのはな

(梨咲く)

晩春 六三

*とろろあおい

(とろろあふひ)

晩秋 二〇八

ながし

(ながし)

仲夏 九三

*なす

(茄子)

晩夏 一七一

*とろろじる

(とろろ汁)

晩夏 一六六

ながしあめ

(ながし雨)

仲夏 九三

*なすづけ

(茄子漬)

三夏 一〇八

*どんぐり

(団栗)

晩秋 二〇八

*ながしはえ

(ながし素麵)

仲夏 一〇八

*なすなうつ

(齋打つ)

新年 三五四

*どんたく

(どんたく)

晩春 四二

*ながしびな

(流し雛)

仲春 四〇

*なすなえ

(茄子苗)

初夏 一六九

(どんたく囃子)

晩春 四二

*ながつゆ

(長梅雨)

晩秋 一八八

*なすながゆ

(齋粥)

新年 三三一

(どんたく)

新年 三四九

*ながなす

(長茄子)

晩夏 一七二

*なすなはやす

(齋はやす)

三春 七三

(どんどこぶね)

新年 三四九

ながむし

(ながむし)

三夏 一三七

*なすのうし

(茄子の牛)

初秋 二二一

(どんどこ舟)

晩夏 一三二

ながらむし

(菜蝨)

三夏 一三七

*なすのうま

(茄子の馬)

初秋 二二一

(どんど焚く)

新年 三四九

ながらたき

(菜殻焚)

初夏 一一九

*なすのはな

(茄子の花)

三夏 一六九

(どんど焼き)

新年 三四九

ながれぼし

(流れ星)

初夏 一一九

なすび

(なすび)

晩夏 一七一

(とんぼ)

三秋 一三二

なき

(菜葱)

晩夏 一七五

なすびつけ

(なすび漬)

三夏 一〇八

(とんぼう)

三秋 一三二

*なきずも

(菜葱)

晩夏 一七五

なすびつける

(茄子漬ける)

三夏 一〇八

(とんぼうまる)

仲夏 一四九

*なきぞめ

(泣角力)

初秋 二二三

なすま

(菜種打つ)

初夏 一一九

(蜻蛉生る)

仲夏 一四九

なぐさかる

(名草枯る)

三冬 三二八

なたねがら

(菜種殻)

初夏 一一九

(ナイトゲーム)

晩夏 一三三

なたねかり	(菜種刈)	初夏	一一九	なつきようげん	(夏狂言)	晩夏	一二三	なつとじる	(納豆汁)	三冬	二九〇
なたねごく	(菜種御供)	晩春	四二	なつきり	(夏霧)	三夏	九六	なつどとう	(夏怒濤)	三夏	一〇一
*なたねづゆ	(菜種梅雨)	晩春	一八	なつく	(夏来)	初夏	八四	なつどなり	(夏隣)	三夏	一一三
なたねのしんじ	(菜種の神事)	晩春	四二	なつこさ	(夏草)	初夏	一七三	なつともし	(夏入る)	初夏	八四
なたねのはな	(菜種の花)	晩春	六九	なつぐち	(夏口)	三夏	九一	なつにい	(夏嶺)	三夏	一〇〇
なたねほす	(菜種干す)	初夏	一一九	*なつぐわ	(夏桑)	三夏	一六四	*なつねぎ	(夏葱)	三夏	一〇一
なたねまく	(菜種蒔く)	晩秋	一一三	なつげ	(菜漬)	三冬	二九二	*なつの	(夏野)	三夏	一〇一
*なたまめ	(刀豆)	初秋	二五三	*なつご	(夏蚕)	仲夏	一四六	*なつのあかつき	(夏の暁)	三夏	八七
なたまめ	(鈍豆)	初秋	二五三	なつごおり	(夏氷)	三夏	一一〇	なつのあさ	(夏の朝)	三夏	八七
*なだれ	(雪崩)	仲春	二三	*なつごだち	(夏木立)	三夏	一五八	*なつのあめ	(夏の雨)	三夏	九四
*なつ	(夏)	三夏	八三	なつごころも	(夏旺ん)	三夏	一〇四	*なつのうみ	(夏の海)	三夏	一〇一
なつあけ	(夏暁)	三夏	八七	*なつさか	(夏座敷)	三夏	一一二	なつのうみ	(夏の湖)	三夏	一〇一
*なつあざみ	(夏薊)	三夏	一七六	*なつざしき	(夏座敷)	三夏	一一二	なつのあざ	(夏の風邪)	三夏	一〇一
なつうぐいす	(夏落葉)	初夏	一六一	*なつざぶとん	(夏座蒲団)	三夏	一一三	なつのかぜ	(夏の川)	三夏	一〇一
なつおちば	(夏帯)	三夏	一〇六	なつしお	(夏潮)	三夏	一〇一	*なつのかわ	(夏の霧)	三夏	九六
*なつおび	(夏終る)	晩夏	九〇	なつしお	(夏潮)	三夏	一〇一	*なつのきり	(夏の雲)	三夏	九六
なつおわる	(夏蛙)	三夏	一三六	*なつしはい	(夏芝居)	晩夏	一二三	なつのくれ	(夏の暮)	三夏	一〇一
なつがえる	(夏陰)	晩夏	九九	なつしやつ	(夏手袷)	三夏	一〇六	*なつのしお	(夏の潮)	三夏	八八
なつかけ	(夏掛)	三夏	一三	なつしゆとう	(夏空)	三夏	九一	*なつのちよう	(夏の蝶)	三夏	一四五
*なつがすみ	(夏霞)	三夏	九六	なつたつ	(夏立つ)	三夏	一七一	*なつのつき	(夏の月)	三夏	九一
なつがも	(夏風邪)	三夏	二四〇	*なつたび	(夏足袋)	初夏	八四	*なつのてん	(夏の露)	三夏	九六
なつがわ	(夏河原)	三夏	一〇一	*なつちかし	(夏近し)	三夏	一〇六	なつのはて	(夏の天)	三夏	九一
なつがらん	(夏柑)	初夏	一五七	なつちよう	(夏蝶)	三夏	一四五	なつのはて	(夏の波)	三夏	一〇一
なつき	(夏木)	三夏	一五八	*なつつばき	(夏燕)	晩夏	一六三	なつのはま	(夏の果)	三夏	九〇
*なつきぎ	(夏着)	三夏	一〇四	なつてぶくろ	(夏手袋)	三夏	一四一	*なつのひ	(夏の浜)	三夏	一〇一
なつきぎす	(夏菊)	晩夏	一六六	*なつてみず	(夏出水)	仲夏	一〇一	なつのひ	(夏の日)	三夏	八七
なつききたる	(夏来る)	初夏	八三	*なつとうじ	(納豆汁)	三冬	二九三	*なつのほし	(夏の灯)	三夏	九二
なつきぬ	(夏衣)	三夏	一〇四						(夏の星)	三夏	一一二

*なつのみずうみ	(夏)の湖	三夏一〇一	なつめ	(棗)	初秋二三八	なぬかしようがつ	(七日正月)	新年三三五
なつのみね	(夏)の嶺	三夏一〇〇	*なつめく	(夏)めく	初夏八四	なのか	(七日木枯)	新年三三五
*なつのもやし	(夏)の虫	三夏一〇六	*なつめのはな	(棗)の花	初夏一五六	*なのきかる	(名)の木枯る	三冬三三四
*なつのおやま	(夏)の山	三夏一〇八	*なつものみ	(棗)の実	初秋二三八	なのきのめ	(名)の木の芽	三春三三四
*なつのおゆうべ	(夏)の夕	三夏一〇八	なつもの	(夏)物	三夏一〇二	*なのくさかる	(名)の草枯る	三冬三二八
なつのおよ	(夏)の夕べ	三夏一〇八	*なつやかた	(夏)館	三夏一〇四	*なののはな	(菜)の花	晩春六九
なつのおい	(夏)の夜	三夏一〇八	*なつやすみ	(夏)休み	晩夏一〇四	*なののはなき	(菜)の花忌	初春四六
*なつのおれん	(夏)の宵	三夏一〇八	なつやすせ	(夏)瘦	三夏一〇六	なののはなづけ	(菜)の花漬	晩春二六
なつのおろ	(夏)暖簾	三夏一〇三	なつやなぎ	(夏)柳	三夏一〇〇	なべおとめ	(鍋)乙女	初夏一三〇
*なつのおり	(夏)の炉	三夏一〇二	なつゆま	(夏)山	三夏一〇〇	なべかぶり	(鍋)被	初夏一三〇
*なつおばかま	*なつばおり	(夏)羽織	なつゆく	(夏)行く	晩夏九〇	なべかんむりまつり	(鍋)冠祭	初夏一三〇
なつおはぎ	(夏)袴	三夏一〇五	なつゆもぎ	(夏)逝く	晩夏九〇	なべぶぎよう	(鍋)奉行	三冬二九一
なつおはじめ	*なつばかま	(夏)初	*なつりようり	(夏)料理	三夏一〇七	なべまつり	(鍋)祭	初夏一三〇
*なつおはしよ	なつおはじめ	(夏)場所	*なつろ	(夏)炉	三夏一〇二	*なべやき	(鍋)焼	三冬二九〇
なつおはつ	なつおはらえ	(夏)果つ	*なつわらび	(撫)子	初夏一七八	なべやきうどん	(鍋)焼饅頭	三冬二九〇
なつおび	なつおび	(夏)日	*なでしこ	(七)種	初秋二五六	なまくるみ	(生)胡桃	晩夏一五六
なつおひかげ	なつおひかげ	(夏)日影	*ななかまど	(七)種	晩秋二四三	*なまこ	(海)鼠	三冬三二八
*なつおひばり	なつおひばり	(夏)雲雀	ななくさ	(七)草	新年三四八	なまこぶね	(海)鼠舟	三冬三二八
なつおふかし	なつおふかし	(夏)深し	*ななくさかゆ	(七)種粥	新年三四一	なまます	(生)身剥	仲夏一四二
*なつおふく	*なつおふく	(夏)服	*ななくさがつめ	(七)種粥	新年三四一	*なまはげ	(生)身剥	仲夏一四二
なつおぶとん	なつおぶとん	(夏)富士	ななくさつめ	(七)種粥	新年三四一	なまみはぎ	(生)身剥	新年三四九
なつおぼうし	なつおぼうし	(夏)蒲団	ななくさな	(七)草爪	新年三四一	*なみのり	(波)のり	晩冬二八二
なつまつり	なつまつり	(夏)帽子	ななくさはやす	(七)草菜	新年三四四	*なむし	(菜)虫	晩夏一二二
*なつみかん	*なつみかん	(夏)蜜柑	*ななふし	(七)節	新年三四一	なむしとる	(菜)虫取る	晩秋二三五
なつみまい	なつみまい	(夏)見舞	ななふし	(竹)節虫	三秋二三四	なめくじら	(蛭)輪	三夏一五一
なつみめい	なつみめい	(夏)夏未	ななわばしよ	(浪)花場所	仲春四二	なめくじら	(な)めくじら	三夏一五一
なつむし	なつむし	(夏)虫	なぬかがゆ	(七)日粥	新年三四一	*なめこ	(滑)子	三冬三二九

なめこじる	(なめこ汁)	三冬 三二九	なんてんぎり	(南天桐)	晩秋 二四五	にぎりぎげ	(濁酒)	仲秋 二〇六
*なめし	(菜飯)	三春 二一八	*なんてんのはな	(南天の花)	仲夏 一五五	*にぎりぶな	(濁り鮎)	仲夏 一四二
なめたけ	(なめたけ)	三冬 三二九	*なんてんのみ	(南天の実)	晩秋 二三六	*にしぎ	(虹)	三夏 九七
なもみはぎ	(なもみ割)	新年 三三九	*なんばんきせる	(南蛮煙管)	仲秋 二五八	にしきぎ	(錦木)	晩秋 二四五
なやらい	(なやらい)	晩冬 三〇六	なんばんのはな	(南蛮煙管)		にしきぎもみじ	(錦木紅葉)	晩秋 二四五
*ならい	(ならい)	三冬 二七四	(なんばんの花)			にしきごい	(錦鯉)	三夏 一四一
ならい	(北風)	三冬 二七四	なんぶふう	(南風)	晩夏 一七二	にしきだい	(錦鯛)	三冬 三一七
*ならのやまやき			なんぶのひまつり		三夏 九二	にしじ	(西日)	三冬 三一七
ならもみじ	(奈良の山焼)	新年 三四九	なんぶふうりん	(南部の火祭)	初秋 二二二	にじます	(虹鱒)	晩夏 九八
*なりきぜめ	(成木責)	晩秋 二四二	にいたか	(南部風鈴)	三夏 一一五	にしまつり	(西祭)	晩春 五四
*なりひらき	(業平忌)	新年 三四九	いにいぜみ	(新高)	三秋 二三七	*にじゅうさんやつき	(二十三夜)	初夏 一三一
なるかみ	(鳴神)	晩夏 一三四	にいぼん	(にいにい蟬)	晩夏 一四八	にじゅうさんやつき	(二十三夜)	仲秋 一九七
*なるこ	(鳴子)	三夏 九七	にお	(新盆)	初秋 二二一	にじゅつせいき	(二十世紀)	仲秋 一九七
なるこつな	(鳴子綱)	三秋 二一一	においどり	(鷹塚)	晩秋 二二二	*にしん	(鯿)	三秋 二二七
なるこなわ	(鳴子縄)	三秋 二一一	におのうきす	(句鳥)	三冬 三一六	にしん	(鯿)	晩春 五三
なるさお	(鳴竿)	三秋 二一一	におのうきす	(にほどり)	三春 五〇	にしんぐもり	(鯿群来)	晩春 五三
なるたきのだいこたき	(鳴滝の大根焚)	仲冬 三〇九	におのうきす	(鳩の浮巢)	三冬 三一六	にしんぶね	(鯿舟)	晩春 五三
なれずし	(馴鮓)	三夏 一〇七	におのうきす	(鳩の巢)	三夏 一四〇	にしんりょう	(鯿漁)	晩春 五三
*なわしろ	(苗代)	晩春 二二	におのうきす	(二階囃子)	晩夏 一三一	にせあかしあのはな	(ニセアカシアの花)	初夏 一六二
*なわしろぐみ	(苗代茶菓)	初夏 一六四	におのうきす	(苦瓜)	仲秋 二五〇	にちにちそう	(日日草)	初夏 一六二
なわしろごむ	(苗代寒)	晩春 二二	におのうきす	(二月)	三夏 一〇一	にちりんそう	(日輪草)	三夏 一六八
なわしろた	(苗代田)	晩春 二二	におのうきす	(二月)	初春 一〇一	にちれんき	(日蓮忌)	晩夏 一六六
なわしろどき	(苗代時)	晩春 二二	におのうきす	(二月)	初春 八	*につきかう	(日記買ふ)	晩秋 三〇九
なわしろまつり	(苗代祭)	晩春 四一	におのうきす	(二月)	初春 八	につきはじめ	(日記始)	年越 二九七
*なわとび	(縄飛)	三冬 三〇二	におのうきす	(二月)	初春 八	につきはつ	(日記果つ)	新年 三四四
なわとび	(縄跳)	三冬 三〇二	におのうきす	(二月)	初春 八	につこうしやしん	(日記果つ)	年越 二九七
なわなう	(縄綱ふ)	三冬 三〇〇	におのうきす	(二月)	初春 八	につこうしやしん	(日記果つ)	年越 二九七
なんきん	(なんきん)	三冬 三〇〇	におのうきす	(二月)	初春 八	につこうしやしん	(日記果つ)	年越 二九七
なんきんまめ	(なんきん)	初秋 二四九	におのうきす	(二月)	初春 八	につこうしやしん	(日記果つ)	年越 二九七
なんじやもんじやのきのほな	(なんじやもんじやのきのはな)	晩秋 二五三	におのうきす	(二月)	初春 八	につこうしやしん	(日記果つ)	年越 二九七
(なんじやもんじやの木)		初夏 一六二	におのうきす	(二月)	初春 八	につこうしやしん	(日記果つ)	年越 二九七

にねんごだいこん	(二年子大根)	仲春	七一	*にんじん	(人参)	三冬	三二七	ねぎのぎぼ	(葱の擬宝)	晩春	七〇
にのうま	(二の午)	初春	三九	にんじん	(胡蘿蔔)	三冬	三二七	ねぎのはな	(葱の花)	晩春	七〇
にのかわり	(二の替)	新年	三四七	にんどう	(忍冬)	初夏	一六二	ねぎばたけ	(葱畑)	三冬	三七
にのとおり	(二の酉)	初冬	三〇七	*にんにく	(蒜)	仲春	七一	*ねぎぼうず	(葱坊主)	晩春	三七
にばんぐさ	(二番草)	晩夏	一一八	ぬいぞめ	(縫初)	仲春	七一	ねこようまる	(猫生主)	晩春	四八
にばんご	(二番蚕)	仲夏	一四六	ぬいはじめ	(縫始)	新年	三四五	ねこぎ	(寝莫産)	三夏	一一三
にばんしぶ	(二番渋)	仲秋	二一三	ぬえ	(鶴)	三夏	一四五	ねこさかる	(猫交る)	初春	四八
にばんちや	(二番茶)	晩春	三四	ぬえつぐみ	(ぬえつぐみ)	三夏	一四一	ねこじやらし	(猫じやらし)	三秋	二五六
*にひやくとおか	(二百十日)	初秋	一八七	ぬかか	(糠蚊)	三夏	一四九	ねこのこ	(猫の子)	晩春	四八
にひやくはつか	(二百十日)	初秋	一八七	ぬかか	(ぬかか)	三秋	二五一	*ねこのこい	(猫の恋)	初春	四八
				ぬかごめし	(ぬかご飯)	晩秋	二〇七	ねこのつま	(猫の夫)	初春	四八
				ぬかずきむし	(ぬかずきむし)			ねこのつま	(猫の妻)	初春	四八
にほいぶくろ	(句袋)	初秋	一八七	ぬかばえ	(糠蠅)	三夏	一四七	ねこひばち	(猫火鉢)	三冬	二九七
*にほのこ	(鶏の子)	三夏	一一四	ぬきな	(抜菜)	三秋	二三四	*ねこやなぎ	(猫柳)	初春	六六
にゆうえん	(入園)	三夏	一四〇	ぬくし	(ぬくし)	三春	一〇	*ねじあやめ	(寝菖蒲)	三冬	二八九
*にゆうがく	(入学)	晩春	二二五	ぬくし	(ぬくし)	三春	一〇	*ねじばな	(寝釈迦)	仲夏	六七
にゆうがくしき	(入学式)	晩春	二二五	ぬくずし	(ぬくずし)	三冬	二九〇	ねしやか	(寝釈迦)	初春	四三
*にゆうがくしけん	(入学試験)	仲春	二二五	ぬけまいり	(抜参)	三春	四〇	*ねしようがつ	(寝正月)	新年	三四七
にゆうしやしき	(入社式)	晩春	二二五	ぬなわ	(萼生ふ)	三夏	一八〇	ねじろぐさ	(根白草)	新年	三五四
にゆうどうぐも	(入道雲)	三夏	九一	ぬなわお	(萼採る)	仲春	七八	ねじろぐさ	(根白草)	三春	七六
*にゆうばい	(入梅)	仲夏	八六	ぬなわのはな	(萼の花)	三夏	一八〇	ねざみはなび	(ねざみ花火)	晩夏	二二三
にゆうぶ	(入峰)	晩春	四五	ぬなわぶね	(萼舟)	三夏	一八〇	ねぜり	(根芹)	三春	七六
*にゆうどうさい	(繞道祭)	新年	三五〇	ぬのこ	(布子)	三夏	一八〇	ねつき	(根接)	仲春	三三
*にら	(萼)	仲春	七一	ぬまかる	(沼潤る)	三冬	二八六	ねつき	(熱砂)	晩夏	八九
*にらのはな	(萼の花)	晩夏	一六九	*ぬるでもみじ		三冬	二八一	ねつしやびよう	(熱射病)	晩夏	二二六
にらみだい	(にらみ鯛)	新年	三三九					*ねつたいぎよ	(熱帯魚)	三夏	一四二
にりんそう	(二輪草)	晩春	七四					*ねつたいや	(熱帯夜)	晩夏	八八
にわたたき	(庭叩き)	三秋	二二八					ねつちゆうしよう	(熱中夜)	晩夏	二二六
*にわたこのはな											
にわはなび	(接骨木の花)	晩春	六六	ねあき	(白膠木紅葉)	晩秋	二四一	ねつぷう	(熱中症)	晩夏	二二六
にんがつ	(庭花火)	晩夏	一一三	ねがいのいと	(根開き)	初秋	二一五	*ねづり	(熱風)	晩夏	八九
		初春	五	ねぎ	(葱)	初秋	二二九	ねなしぐさ	(根無草)	三夏	一八〇

のせぎよう (野施行) 晩冬二八五
 のちのあわせ (後の拾) 仲秋二〇六
 *のちのころもかえ (後の更衣) 晩秋二〇六
 *のちのつき (後の月) 晩秋一九七
 *のちのひがん (後の彼岸) 仲秋一八七
 *のちのひな (後の雛) 晩秋二一八
 のちのめいげつ (後の名月) 晩秋一九七
 のつこみ (乗つ込み) 晩春五五
 *のつこみだい (乗込鯛) 晩春五三
 *のつこみぶな (乗込鯛) 晩春五四
 *のつべいじる (のつべいじ) 三冬二九〇
 のつべいじ (のつべいじ) 三冬二九〇
 *のどか (長閑) 三春一一〇
 のどかさ (長閑さ) 三春一一〇
 のどけさ (のどけさ) 三春一一〇
 のどけし (のどけし) 三春一一〇
 のはぎ (野萩) 初秋二五五
 のはなしようぶ (野花菖蒲) 仲夏一六五
 のばらのみ (野ばら) 晩秋二四六
 のび (野火) 初春二〇六
 *のびる (野萩) 仲春七六
 *のびるつむ (野萩摘む) 仲春七六
 *のびるのはな (野蒜の花) 初夏一七八
 のぶどう (野葡萄) 初秋二四六
 *のぶながき (信長忌) 仲夏一三四
 *のぼたん (野牡丹) 三夏一五五
 *のぼり (織) 初夏二二九
 *のぼりあゆ (上り鮎) 晩春五四
 *のぼりやな (野馬追) 三春三四
 *のまおい (野馬追) 晩夏一三二
 *のみ (蚤) 三夏一五〇

のみのあと (蚤の跡) 三夏一五〇
 のやき (野焼) 初春三〇
 *のやく (野焼く) 初春三〇
 *のり (海苔) 初春七九
 のりうつぎのはな (糊うつぎの花) 晩夏一六三
 のりかく (海苔掻く) 初春七九
 のりそだ (海苔粗朶) 初春七九
 *のりぞめ (乗初) 新年三四一
 *のりぞめ (騎初) 新年三四八
 のりとり (海苔採) 初春七九
 *のりとり (宣長忌) 晩秋二二四
 のりひび (海苔涎) 初春七九
 のりぶね (海苔舟) 初春七九
 のりほす (海苔干す) 初春七九
 *のわき (野分) 仲秋一九九
 *のわきあと (野分後) 仲秋一九九
 のわきぐも (野分雲) 仲秋一九九
 のわきだつ (野分だつ) 仲秋一九九
 のわきばれ (野分晴) 仲秋一九九
 のわけ (野わけ) 仲秋一九九
 ばいどういーく (バードウィーク) 初夏二二八
 ばいどでー (バードデー) 初夏二二八
 ばいべきゅー (バーベキュー) 晩夏一二二
 *はあり (羽蟻) 三夏一五〇
 はあり (飛蟻) 三夏一五〇
 はありー (ハリー) 仲夏一二九
 はありのよ (羽蟻の夜) 三夏一五〇
 ばい (蠶) 三春一七
 ばい (梅雨) 仲夏九七
 ばい (梅雨) 仲夏九五

ばいうち (海蠶打) 初秋二二六
 はいが (拜賀) 新年三四八
 ばいかさく (梅花御供) 晩春四二
 ばいかも (梅花藻) 仲夏一八〇
 ばいごま (ばい独楽) 初秋二二六
 はいせんび (敗戦日) 初秋二二八
 ばいてん (蠶天) 三春一七
 ばいてん (梅天) 仲夏九五
 *ばいなつぶる (バイナップル) 晩夏一五七
 はいびすかす (ハイビスカス) 晩夏一五五
 ばいふう (蠶風) 三春一七
 *ばいまわし (海蠶廻し) 初秋二一六
 *ばいものはな (貝母の花) 仲春六八
 ばいりん (梅林) 初春五八
 *はえ (蠶) 三夏一四九
 はえ (鮎) 三春一四九
 はえ (南風) 三夏一四九
 はえ (はえ) 三夏九二
 はえいらず (蠶生らず) 三夏一四四
 *はえうまる (蠶生る) 晩春一四四
 はえおおい (蠶覆) 三夏一四四
 はえたたき (蠶叩) 三夏一四四
 はえちよう (蠶帳) 三夏一四四
 *はえとり (蠶取) 三夏一四四
 はえとり (蠶捕紙) 三夏一四四
 はえとりがみ (蠶捕器) 三夏一四四
 *はえとりぐも (蠶虎) 三夏一五一
 はえとりぐも (蠶捕蜘蛛) 三夏一五一
 はえとりびん (蠶捕瓶) 三夏一四四